

# 令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

中学校 公民的分野 「教科（帝国書院）」

70時間（70％）

週	内容	小単元（章）	主な学習内容（項目）	時間数	留意点
<b>第1部 私たちと現代社会</b>					
1	(1) ア	1. 私たちの生きる現代社会について考えよう	○30年前と今の社会を比較してみよう ①私たちの現代社会をみてみよう ②少子高齢化が進む現代 ③情報化が進む現代 ④グローバル化が進む現代	1 1 1	※空欄は通常の年間指導計画の時間数で対応。 ・グローバル化、情報化、少子高齢化が、互いに関連し合いながら、政治、経済、国際関係に影響を与えていることを理解させる。 ・日常の社会生活と関わり深い具体的事例を取り上げる。
2		2. 私たちの生活と文化について考えよう	①生活に息づく文化 ②日本の伝統・文化 ③文化の継承と創造	2	・「文化の継承と創造の意義」においては、我が国の伝統と文化を扱う。
3	(1) イ	3. 私たちの生きる現代社会の見方・考え方	①家族のなかで生きる私たち ②地域のなかで生きる私たち ③対立から合意へ マンションの騒音問題を解決しよう ④きまりの意義	1 1 1	・家族形態の変化、法にみる家族、地域社会の役割と課題について扱う。
			学習をふりかえろう	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
<b>第2部 私たちと民主政治</b>					
4	(3) ア	1. 民主主義について考えよう	○暮らしを良くする政治を考えてみよう ①私たちの選択で決まる民主主義 ②民主主義と人権の歩み	1 1	
5		2. 日本国憲法について考えよう	①日本国憲法とは ②国民主権と私たち ③日本の平和主義 ④基本的人権の尊重と平等権 ⑤現代社会に残る差別(1) ⑥現代社会に残る差別(2) ⑦自由権 ⑧社会権 ⑨広がる人権の考え方 ⑩人権を守るためには	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
7			トライアル公民「青果店を営む男性はどうなる？」	家庭	・AさんとB市のどちらの考えを支持するか、社会の一員としての在り方と公共の福祉とは何かについて考えさせる課題を出し、確認する。
			学習をふりかえろう	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
8	(3) イ	3. 国民として国の政治を考えよう	①国民の願いを実現するために ②世論とマスメディア トライアル公民「新聞について知ろう」 ③政党の役割 ④選挙制度とその課題 ⑤国会の役割としくみ ⑥国会の現状と課題 ⑦内閣の役割としくみ ⑧行政の役割と課題 ⑨私たちの生活と裁判 ⑩人権を守る裁判とその改革	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・国会議員の役割、世論と政治の関係を理解させる。その際、直接民主制及び間接民主制を扱うとともに、インターネットと政治の関係についても触れる。 ・複数の新聞の同じ出来事の記事を比較させるなどの課題を出し、新聞社による見出しや書き方の違いを読み取りまとめる。 ・模擬選挙は、主権者教育の観点から設定する。(※3密を考慮)
10			トライアル公民「裁判の判決を考えよう」 ⑪三権の分立	1 1	・法教育関係者の協力を得て、実施する。(※3密を考慮)
			学習をふりかえろう	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
11		4. 住民として地方自治について考えよう	①地方自治と地方公共団体 ②地方公共団体のしくみと政治参加 ③地方財政の現状と課題 ④これからの地方自治 トライアル公民「自分が住むまちのまちづくりを考えよう」 未来に向けて「防災とまちづくり」 ⑤私たちと政治参加	1 1 1 1 1	・国の政治の仕組みと比較しながら、地方議会の制定する条例と、二元代表制の仕組みについて、必ず扱う。 ・④を中心に実施し、主権者教育の観点から「自分が住むまちのまちづくりを考えよう」は、具体的な提言を考えさせる等の課題を出し、確認する。 ・「防災とまちづくり」は、資料として読む等の課題を出し、確認する。
			学習をふりかえろう	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
<b>第3部 私たちと経済活動</b>					
12	(2) ア・イ	1. 私たちの生活と経済について考えよう	○身のまわりの暮らしと経済について考えてみよう ①経済活動とお金の役割 ②お金の使い方と経済の考え方 ③価格のはたらきと経済	1 1	・「資源の効率的な配分」については、生徒がはじめて出合う事象となるので丁寧に扱う。

13	(2) ア	2. 消費者として経済を考えよう	①家計の収入と支出	1	学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
			②消費生活と流通とのかかわり	1	
			③消費者を支える政府の取り組み	1	
3時間			学習をふりかえろう	家庭	
14 15 16	(2) イ	3. 企業を通して経済を考えよう	①私たちの生活と企業	1	・「パン屋の経営者になってみよう」を参考にして、自分がつくってみたい企業の企画書作成等を課題として出し、確認する。 ・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
			②企業活動のしくみと種類	1	
			③株式会社のしくみ	1	
			④企業競争の役割	1	
			⑤働くことの意義と労働者の権利	1	
			⑥労働環境の変化と課題	1	
			⑦企業の社会的責任	1	
			⑧景気の変動と企業	1	
			⑨金融のしくみとはたらき	1	
			⑩グローバル化と日本経済	1	
			⑪これからの日本の産業	1	
11時間			トリアル「企業の企画書を完成させよう」	家庭	
5時間			学習をふりかえろう	家庭	
17	(2) イ	4. 納税者として経済を考えよう	①私たちの生活と財政	1	・市長の立場から税金投入するか、根拠ある主張をまとめさせる等の課題を出し、確認する。
			②国の支出と収入	1	
			③社会資本の役割と環境への取り組み	1	
			トリアル「赤字バス路線に税金を使うべきか？」	家庭	
			④社会保障と私たちの生活	1	
			⑤これからの日本の財政	1	
5時間			学習をふりかえろう	家庭	
<b>第4部 私たちと国際社会</b>					
18 19	(4) ア	1. 世界平和の実現をめざして	○世界の子どもたちと協力できることを考えてみよう	1	・我が国の領土、国家主権に関する事項については、新学習指導要領の規定に基づき扱う。 ・戦争の防止では核兵器の脅威について扱う。
			①国家と国際社会	1	
			②領土をめぐる問題	1	
			③今なお解決しない紛争	1	
			④核兵器の脅威と軍縮の動き	1	
			⑤戦争の被害と人権	1	
			⑥国際連合のはたらきとそのしくみ	1	
			⑦地域機構と世界の経済格差	1	
			⑧国際社会における日本の役割	1	
			⑨国際社会のより良い発展	1	
8時間			学習をふりかえろう	家庭	
20	(4) ア	2. 環境問題について考えよう	①地球規模で広がる環境問題	1	・①については小学校の学習を生かし、②の学習を中心に実施する。 ・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
			②地球温暖化とその国際的対応	1	
			③資源・エネルギー問題	1	
			④これからのエネルギーと消費生活	1	
			3時間		
<b>第5部 より良い社会をめざして</b>					
21	(4) イ	1. 持続可能な社会について考えよう	①持続可能な社会をめざして レポート作成の手順 ※中学社会の総まとめ 課題を探究する活動	3	・よりよい社会の構築のための課題解決に向けた自分の考えの過程や結果をレポート等にまとめさせ、説明、論述させる。なお、まとめる際には、家庭での学習時間を有効活用する。

### ※時間数の精選方法（例）

○小学校社会科の学習とのつながりを意識し、教育課程の見直しを図る。

小学校6年生の社会科においては、国会や地方自治の政治、国際社会に関する問題の学習を扱うため、中学校の生徒がその内容をイメージしやすいという実態がある。そこで、短縮実施する場合は、(3)ア・イ、(4)ア(新：C(1)(2)、D(1))が、比較的しやすいと考えられる。ただし、(2)ア・イ(新：B(1)(2))の「私たちと経済」に関する事項については、従来の生徒の実態からも、丁寧に扱い、基礎的・基本的な知識及び技能を習得することができるよう、時間を確保することが求められる。

○教科書に掲載されている「トリアル」「学習をふりかえろう」は、家庭学習の時間に位置付ける。

各学校の授業では、基礎的・基本的な知識及び技能の習得に重点を置き、教科書に掲載されている「トリアル」「学習をふりかえろう」については、基本的に家庭学習の時間に充てることが考えられる。また、生徒にレポート等の提出を求める場合は、自分の考えを論述することを意識させるようにしたい。なお、特に公民的分野においては、他者と議論することを通して、多面的・多角的な考えに触れることが大切とされていることから、各学校の教育課程上の時数に余裕がある場合は、これらの活動を積極的に指導計画の中で位置付けていきたい。